

# 協勞福協

第 480 号 2008年1月15日

石川県労働者福祉協議会 上田弘志

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号 電話 (076) 231-1737 FAX (076) 231-1731 http://www.ishikawa-rofukukyo.jp info@ishikawa-rofukukyo.jp

毎月1回 25日発行 価 一部 20円 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可



## 働く者の連帯で、社会的共感が得られる運動をめざして!

石川県労働者福祉協議会 理事長 上田 弘志



新年明けましておめでとうございます。

昨年も自治体・労働団体・事業団体をはじめ関係各位のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

石川労福協は、事業団体や労働団体と共に、自主福祉活動の充実と強化のため、相互に連携を図っています。特に、現役労働者と退職者、事業団体が一体となった石川県ライフ・サポートセンターや県内9地区12地域に設置した地域ライフ・サポートセンターは結成以来6年目を迎え、スポーツやレクリェーション、文化活動などの行事開催を通して職場や地域に定着させると共に、各事業団体を地域で支える諸活動を展開するなど、地域に密着した運動に取組んでいます。また、「福祉なんでも相談」の利用促進を図るため、これまでのメール・FAX・手紙による受付に加え、昨年の11月20日より電話での受付も開始しました。

また、子育て支援「いしかわ緊急サポートネットワーク」事業を通して、県内の少子化対策、子育て支援の一翼を担い、地域社会への貢献を果たしていきます。そのためにも、ネットワーク会議構成団体との連携や石川労福協加盟の各団体の積極的な協力で、利用会員400名・サポート会員200名を目標に会員拡大に取組みます。その他、石川県をはじめ各市町に対する政策提言と要請行動にも取組むと共に、無料職業紹介所「ジョブいしかわ(仮称)」の開設に向けて取組みます。

2008年は始まったばかりですが、諸々の課題が山積しています。特に、少子高齢化、人口減少社会が進展する日本社会で、非正規雇用が急増し低所得・不安定雇用層が拡大、正規雇用を中心に長時間労働の問題、メンタルへルス不調者や過労死・過労自殺も増加の一途を辿り、大きな社会のひずみとして深刻な問題となっています。

誰もがゆとり豊かさを実感できる社会を構築するため、社会全体の問題にどのように関わり、どう取組むかが重要です。社会的共感が得られる運動を、連合石川をコアとする労働組合、労働金庫や全労済をはじめとする事業団体の皆さんと共に、すべての働く者の連帯で職域活動、地域活動の特性を相互に補完しながら、一体的な運動を展開して行きましょう。関係各位の皆さんのご理解とご奮闘を重ねてお願いし、新年の挨拶とします。



### 活力ある地域づくりを 目指して

石川県知事

谷本 正憲

明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春を、ご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力 を賜っておりますことを、本誌面をお借りして心から感 謝申し上げます。

昨年3月25日に発生した能登半島地震は、県政史上未曾 有の大災害となりました。多くの皆様のご支援をいただき、被 災地の応急復日は順調に進みました。今年は被災地の本格的 な復興に向けて、大きく前進する年にしたいと思っています。

本県経済は、機械工業を中心に高水準の生産が続き、設備投資も増加するなど、全体的には回復基調にありますが、原油をはじめとする素材価格の高騰や、地域や業種、企業規模によるばらつき等に引き続き留意しながら、意欲ある中小企業の取組みに対して、きめ細やかな支援を行ってまいりたいと考えております。

また、雇用面では、全体としては堅調に推移している ものの、依然として若年者の失業率が高いことから、職 場実習の活用や石川県若者女性しごと情報館における就 業支援、ニートの自立支援などの取組みを推進し、雇用 情勢の更なる改善に、引き続き努めてまいります。

県では、ワークライフバランス社会の実現のため、法律上は従業員301人以上の企業に義務付けられている一般事業主行動計画の策定を、「いしかわ子ども総合条例」で、全国で初めて100人以上の企業に拡大し、今年4月の施行に向け、事業主に対する周知啓発に力を入れているところです。

石川県労働者福祉協議会におかれましては、「子育て 支援『いしかわ緊急サポートネットワーク』事業」の会 員数、サービス件数が着実に伸長しており、関係各位の ご尽力に感謝申し上げる次第であります。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますと共に、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



### 行政と市民との協働による まちづくりを

石川県市長会 会長山出 保 (金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春 をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、我が国の経済は、企業 部門の好調さが持続し、緩やかな景気回復が続いている ものの、原油価格の高騰等、その先行きには不透明感も 広がりつつあります。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、景気の回復を確固たるものにすべく、地域経済の振興、産業基盤の強化に更に力を注ぐと共に、国の雇用施策に積極的に呼応しながら、働く方々の雇用の改善や住民福祉の向上に最善を尽くしてまいりたいと考えております。

特に、本市といたしましては、6年後に迫った北陸新幹線の開業を見据え、「未来を拓く世界都市金沢の創造」をめざし、都市基盤の整備やまちなかの活性化、地域経済の振興といったまちの将来につながる施策に積極的に取り組むほか、非正規雇用労働者の正規雇用への転換などの雇用安定の強化にも最大限の努力を傾けたいと考えております。

石川県市長会としましても、地方分権時代にふさわしい自立度の高い市政をめざし、市民生活の安全・安心の確保や循環型社会の形成など、山積する課題に対応し、皆様のご理解を得て、行政と市民との協働によるまちづくりを一生懸命に取組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたします と共に、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い 申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



「窓岩一 曽々木海岸

理 石川 務理事 務 事 新 局員 ハイザー 事長 次上 長 県労働者福祉協議会役職 奥井 曽谷 西田 春木 柴田 宮下 光林 狩山 長田 横山 上 八木 水野 单 垣 伸之 利春 満明 晴雄 久弥 康 志郎 和 和 征 和 次 信 修 裕 廣 亮 彦 孜 巖 雄 人 め 専 専 運 J サ 私 電 情 電 全 生 労 北 連 髙 J U J 自 連 北 住 車 専 全 で 陸 陸 P 機 鉄 力 合 労 労 治 労 協 ・セン 働 総 連 石 員 金 同盟 同 Ш 連 連 連 連 合 M 庫 合 済 連 済



## 地域の振興と自立する町政運営

石川県町長会 会長村**隆一** (津幡町・町長)

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成 20 年の新春を清々しくお迎えのこととお慶 び申し上げます。

皆様には、各町政の推進につきまして多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、昨年の能登半島地震において被災された方々に対しまして心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い再建、復興をお祈りいたします。

さて、平成の大合併を経た今、県内市町を取り巻く情勢はきわめて厳しく、過疎地域の拡大や少子高齢化の進展、未だに実感できない景気回復と雇用の拡大など、地域の財政や産業・経済面では長期低迷状態が依然として続いております。また、交通・医療等の社会基盤の面でも様々な軋みが顕在化している状況にあります。そして、これら問題は、都市部との地域間格差をも抱え、その格差は徐々に広がってきております。

そうした中、昨年9月には福田新内閣が発足し、地方の声に耳を傾けて地方再生に取り組むといった方針が示されましたが、私ども石川県町長会といたしましても、各町における将来への明確な展望を持って、地域の振興と自立する町政運営に対してあらん限りの力を尽くしていく覚悟です。

すみよい社会づくりは、石川労福協と理念を同じくするものと思います。皆様方におかれましては、一人ひとりが誇りと愛着を持ち住んでよかったと実感できるまちづくりに向けて、一層のご協力ご支援を念願いたしますと共に、本年が皆様方にとって、幸多い一年でありますようお祈りしまして、念頭のご挨拶といたします。



## 困っている人たちの 悩みは、"ほっとけない"

労働者福祉中央協議会 会 長 **笹森** 清

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、連合をはじめ、各事業団体との「協働」による「暮らしにかかわるサポート事業」の取組みが本格的になり、多くの県でサポートセンターが設立され、相談活動が始まりました。

また、クレ・サラ問題に引き続く割賦販売法改正に関しては、法曹界や消費者団体と連携を図り、中央労福協発足以来、初めての街頭宣伝と署名活動を都内の主要駅で実施し、悪徳商法に対する消費者保護を強烈にアピール、地方労福協においても強力な運動体制を構築いただきました。今後は、国会での法案化の段階での残課題の実現をめざして、全国での運動を引き続き展開する必要があります。

われわれ働くものを取り巻く環境は、格差社会や「働く 貧困層の拡大」等ますます悲惨な状況となっています。年 金や医療などの社会保障は揺らぎ、非正規雇用者の増加と いう不安定な雇用構造の中で、勤労国民の暮らしは危機的 な状況にあるといっても過言ではありません。

私たちは、こうした格差社会や貧困の現実を直視し、社会の不条理に立ち向かわなければなりません。人としての 尊厳が保障され、「支え合いと助け合い」の原理が活かされる社会、ぬくもりのある社会を目指す必要があります。 そのためには、これまでの労働運動を発展させ、広く市民に根ざした社会運動へと転換させる必要があります。

困っている人たちの悩みは"ほっとけない"それを解決する力を眠らせておくのは"もったいない"失敗するかもしれないが恐れず"へこたれない"で2008年を頑張り合いましょう。



### ゆとり豊かさが 実感できる社会を めざして

連合石川 会長上田 弘志

新年あけましておめでとうございます。

日本社会は、「劣化する社会」への道を突き進みつつあります。「使い勝手の良い労働」「正規雇用から非正規雇用への置き換え」が推し進められた結果、非正規雇用の急増、低所得・不安定雇用層が拡大する一方で、正規雇用者を中心とした長時間労働の問題も改善の目途が立っておらず、メンタルヘルス不調者や過労死・過労自殺も増加の一途をたどり、大きな社会の歪みとして深刻な問題となっています。

労働組合は社会的責任を負う存在です。自らの責任を 果たすと共に、政治や行政、経営者団体などの社会的責 任を有する分野に対しても、メッセージを発信し働きかけを行うなど、社会全体への波及・認識の共有化を進めていかなければなりません。

今年も労働分配率の改善や組織拡大など、課題山積ではありますが、労働運動が本来持つ社会的役割に対する強い期待を受け止めながら、一つひとつ課題に果敢にチャレンジし、着実に成果を上げていくため、連合石川の総力を結集し運動を展開していきたいと考えます。そして、「労働」が軽視される社会に歯止めをかけ、誰もがゆとり豊かさが実感できる社会を構築していきましょう。

連合石川は、各地協が地域における自主福祉活動の推進 拠点であり、ワンストップサービスを提供する拠点として の役割を果たすと共に、労働者福祉事業の充実・強化に向 け、各事業団体の取組みを推進していきます。

石川労福協をはじめ各事業団体の益々のご発展を祈念 し、連合石川に対するより一層のご理解とご協力を重ねて お願いし、新年の挨拶とします。



### ろうきん運動の原点に立ち、 事業を展開

北陸労働金庫 石川県本部長 梅澤 彰人

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、労金運動の推進につきまして深いご理解 と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ろうきん運動は、戦後、労働組合運動が急速に発展 し、それと共にインフレーションの昂進や生計費の高騰 が続き、賃金と物価の悪循環に労働者の生活が好転しな い時代に、労働者の相互扶助による福祉共済活動の高ま りに端を発します。

労働金庫設立から半世紀を超えて、なお時代状況は混迷を深めています。昨年来、原油価格の高騰、米住宅ローン問題に始まる金融危機の中で、企業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しています。経済のグローバル化の只中にあって、企業は常にイノベーションを起こし、変化に対応しながら、未来への展望を切り開かなければなりません。

経済の混乱は、勤労大衆の生活を直撃します。この時にこそ、私たち事業団体の福祉共済活動はますますその 重要性を増すものと考えています。

北陸労働金庫は、コンプライアンスの原則に則り、安心・安全・健全を念頭に、生活応援・金利見直し運動と銘打って、勤労者の生活を豊かにする取組を提起し、そして展開することが出来ました。ひとえに会員各位のご協力の賜物と感謝する次第です。

本年も引き続き、ろうきん運動の原点に立って、会員の皆様のお役に立てるよう事業展開を進めてまいります。北陸労働金庫として進むべき道を示し、且つ、目指し、皆様と一緒に力強く一歩を踏み出す年にしたいと存じます。

最後になりましたが、皆様のご健康と今後の益々のご 発展をご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。



### 更なる労済運動の 前進をめざして

全労済石川県本部 理事長 橋本 和雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、労福協をはじめ協力団体、組合員の皆さんの 御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2007年は、県下において観測史上最大の「能登半島地震」が発生。3月25日午前9時42分能登半島沖を震源とするマグニチュード6.9の強い地震は、多くの組合員が住宅の被災を被りました。

全労済は、組合員の生活再建のために直ちに災害対策 本部を設け、被災組合員の住宅調査活動を行い、共済金 をお支払いさせて頂き生活再建にお役に立てることが出 来ました。

2008年は、能登半島地震を契機としてさらに助け合いの精神を県下の働く皆さんに推し進めていく所存でございます。

とりわけ、生活保障設計運動を前面に推し進め、組合員の保障の点検と見直しを進めムリ・ムダを取り除き、組合員の将来の安心と安全の提案活動を行っていきます。また、2008年4月に生協法が改正されます。今回の改正のポイントは、生協の健全性の強化であり、全労済においても今までにもまして、組合員からの期待に応えるべく内部留保の充実などを行っていく所存でございます。

最後に、全労済運動が誕生し50年が経過いたしました。これからの50年をめざしてNEXT50と銘打って、新しい理念を制定させて頂きました。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」 この理念を実現するために役職員一同、精一杯がんば る決意でございますので、本年も変わらぬご支援、ご協 力をお願い申し上げ、皆様方のご健康とご多幸を心から 祈念し新年の御挨拶とさせて頂きます。



おめでとうございます





### 設立45年で約2800戸の 住宅・宅地を供給

石川県勤労者住宅生活協同組合 理事長 **矢嶋 幸雄** 

新年明けましておめでとうございます。

昨年は労福協の事業団体及びライフ・サポートセンターの皆さん、並びに連合石川をはじめとした労働組合の関係各位に温かいご支援とご協力を賜り心から感謝と 御礼を申し上げます。

早いもので住宅生協が昭和37年に設立され45年が経ちました。この間、石川県内「40」の団地に約2800戸(区画)の住宅・宅地を供給し続けてまいりました。これもひとえに関係自治体や関係労働団体のご支援の賜物と改めて深く感謝申し上げる次第です。

昨年は一昨年に起きました耐震強度偽装問題の余波を もろに受け、マンション・戸建住宅の建築着工件数が大幅に減少しました。過去最悪といわれますこの様な現象 は、住宅産業の裾野が広いだけに経済の成長に与える影響は少なくないものと考えます。

当生協におきましてもこの影響を受け、ようやく地価が下げ止まってきたという状況を生かすことが出来ず、12月末の供給高は前年実績を大幅に下回りました。

本年以降は原油高・サブプライムローン問題・ドル離れ現象などの要因が世界の経済をさらに脅かすといわれており、取り巻く環境がますます厳しくなることは必定です。

労働者は、自らの力で自らの生活を守るしかありません。労福協に結集する皆さんが労働運動と一体となり、 労働者の権利の確立と生活の安定・向上に邁進されます ことを心から願ってやみません。

最後になりましたが皆様方のご健康と益々のご発展を 祈念し、新年のご挨拶といたします。



### 地域に根ざした存在として 期待に応えうる 運営に努める

石川県生活協同組合連合会 会長理事 **横山 和男** 

新年明けましておめでとうございます。

昨年の能登半島地震災害に対し、生協連として石川県 災害対策ボランティア本部と連携し、会員生協の協力を 得て災害対応の取組みを進め、また義援金の口座開設を 行いました。その際には、皆様に多大なるご支援、ご協 力をいただきまして、心から厚くお礼申し上げます。

また、昨年は食品表示の偽装問題が多発し、消費者の



### 設立40周年を期に 更なる事業基盤の 強化を

脚石川県労働者信用基金協会 理事長 川口 昭一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は自治体をはじめ労福協、労働団体、事業団体、 の皆様から力強いご支援、ご協力を賜り、心から感謝を 申し上げます。

石川労信協は1968年(昭和43年)7月に石川県をはじめ各自治体や労福協、事業団体からの出損金を基金として設立され、本年40周年を迎えます。

この間、歴代の役・職員の皆さんや関係者のご努力により堅実に事業を発展させ、基本財産を14億円超に増強することができました。これにより昨年度より関係団体からの出損金の要請を自粛することを決断し、自助努力での事業基盤の強化・拡充に踏み出しました。

当協会は、労働者への信用保証を通じて労働者福祉運動の一翼を担ってきたと自負しております。

しかし、一向に改善されない不安定雇用や所得格差など労働者をとりまく環境はきびしく、生活破壊や将来不安が解消されていません。

こうした中、信用保証業務を的確かつ誠実に実行することにより労働者の負託に応えると共に、08年12月から実施される新公益法人制度への対応にも万全を期していきたいと考えております。

最後になりましたが皆様のご健康とご多幸をご祈念申 し上げ年頭のご挨拶といたします。



木場潟と白山

食品表示に対する信頼を失墜させました。消費者であり、安心・安全な商品を供給する立場の生協としては、 消費者の信頼回復に向けて、社会システムの構築に事業 者としての社会的役割を発揮していきたいと思います。

昨年5月、生協法は59年ぶりに抜本的、総合的に改正され、2008年4月1日より施行されます。今年度の総(代)会での定款・規約の改正など適格に対応し、社会的な責任と役割を果たしていきたいと思います。

本年も、地域に根ざした存在として期待に応えうる運営に努めてまいりたいと思います。

何卒、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い 致します。新しい年を迎え、皆様のご多幸を祈念し、新 年のご挨拶といたします。



### スポーツで職域・地域の 交流やふれあいを 深めよう!

石川県勤労者体育協会 会 長 **中谷 喜和** 

新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはご健勝で新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、当協会の創立40周年を迎え記念式典等の事業を開催しましたところ、谷本県知事、和田内県議会議長、山出金沢市長、上田金沢市議会副議長をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、無事終了することが出来ました。これもひとえに各自治体、競技団体、企業、労働団体、勤体協役員の皆様方のご支援ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

勤体協は、これからも職域や地域に広くスポーツの普及を図り、県内各地で誰もが気軽に楽しく参加出来る各種競技大会を開催し、スポーツを通して勤労者の交流や ふれあいを深めてまいります。

スポーツで培った豊かな活力ある心身は、高齢社会の 生活に不可欠でありかつ重要な役割を担っていると言え ます。併せて、各地域ライフ・サポートセンターのス ポーツレクリエーション部会の活動に参画し、生涯ス ポーツの育成・継続・定着を図ってまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い 申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念 申し上げまして、新年のご挨拶とします。

## 2008第42回石川県勤労者

関催地	関 催 日	租目	場 所	申込締切日
金 沢	平成20年2月10日(日)	卓 球	金沢市中央体育館	1月28日(月)
白山	平成20年2月24日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	2月12日(火)
金 沢	平成20年2月24日(日)	バスケットボール	石川県体育館	2月12日(火)
白山	平成20年3月 2日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	2月12日(火)
金 沢	平成20年3月 9日(日)	バスケットボール	石川県体育館	2月12日(火)
内 灘	平成20年3月16日(日)	バスケットボール	内 灘 体 育 館	2月12日(火)
白山	平成20年3月23日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	2月12日(火)
金 沢	平成20年3月23日(日)	バスケットボール	石川県体育館	2月12日(火)
白山	平成20年3月16日(日)	バドミントン	白山市若宮体育館	3月 3日(月)
金 沢	平成20年3月 2日(日)	ソフトバレーボール(LSC)	金沢市総合体育館	2月18日(月)
金 沢	平成20年3月16日(日)	卓 球(3人3W)(LSC)	金沢市中央体育館	3月 3日(月)



主催 (型がりという名の事を健康社会にかえる 石川県勤労者体育協会 (申込先) TEL 076-223-6675・FAX 076-223-6775

後援 北 國 新 聞 社 石川県教育委員会石川県労働者福祉協議会



### 結成40周年 自然共生の年に

石川県勤労者文化協会 会長、大樋長左衛門 (文化功労賞受賞:日本芸術院会員)

明けましておめでとうございます。

新年は希望に満ち溢れた輝かしい年であるよう期待しています。ところが今日、地球温暖化に見られるように自然環境が危ぶまれています。

科学万能、経済競争主義の世の中がますます貴重な自然をこわしています。

このような状況下で私たち美術、文化の活動は平和と 自然を大切にして美や詩情を追求してまいりました。私 たちの原点は自然です。 自然にある材料を使い、自然 を作品にしています。

これからも美しい自然の保全と自然との共生を柱にした活動をすすめてまいります。

さて今年は私たち、石川県勤労者文化協会が誕生して 40年という節目を迎えます。

更なる力量と信頼、そして責任を発揮した事業展開を 図ります。

新年に当り皆様方のますますのご発展をお祈りいたします。

### 第38回石川県勤労者

## 早春書画・生花展

と き 平成20年**1月24日**(木)~**1月27日**(日) 午前10時~午後6時

但し、最終日は午後3時まで

ところ アートシアターいしかわ 金沢市片町2丁目2番5号 ラブロ片町7FギャラリーI

◇主 催 石川県勤労者文化協会

◇後 援 北國新聞社、石川県労働者福祉協議会

◇作品搬入 書画の部

・1月19日出 20日日 午前10時~午後4時

・石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)

生花の部

・申込締切 1月21日(月)

石川県勤労者文化協会 (郵便·電話·FAX可)

・1月23日(水) 午後4時~午後8時(本展会場へ) (注) お花の管理は各自ですること

◇問合わせ 石川県勤労者文化協会

TEL (076) 231-1746 FAX (076) 234-0092 金沢市西念3丁目3番5号 (フレンドパーク石川3F)





### おもいやりの社会形成を

NPO法人 いしかわ介護ボランティアセンター 代表理事 澤 信俊

新しい年を迎え、もう一度「おもいやり」の言葉を考 えてみます。

四年前の本紙年頭の所感で、「『思いやり』の復権」とい う表題でのべたことを思い出します。昨年末恒例の今年 の漢字で一位だったのが「偽」で、「食」、「嘘」、「疑」がそ れに続きました。三年前の「愛」、一昨年の「命」は、人間が もっとも大切に育まなければいけない規範として、常に これまでの世相の中心にあり、寛容な日本人の特性を言 い当てていました。

これまでも「いつわること」が無かったわけではない が、これ程まかり通った年も稀有だといえます。こうし た現象は、自由主義市場原理がすべての基準となるよう な社会につきもののようです。間違って自由という力を 手にした人は、他人に知られなければ、益々いつわって でも富を手にして良いという考えを増幅させ、そのこと に執着します。これまでの日本の社会には、「片手に論 語、片手にソロバン」の規範が生きていましたが、今、 それを捨ててしまった日本の社会は、「パンとサーカ ス」で滅びた古代ローマ社会を彷彿させます。

寛容な日本人の特性は、「言われるがまま」、「なさ れるがまま」、「おまかせ」にすることと違います。寛 容であることは、「おもいやり」のあることです。労働 者福祉協議会の原点はこの「おもいやり」にあり、協議 会が思いやりのある社会形成の先頭にたって活動するこ とを期待いたします。

### さわやか • •

NPO 法人

ボランティア会員募集中! 高齢者や障害者の方の通院や買い物等の外出を支援する「移送サービス」や「草むしり」、「窓ふき」「ゴミ出 し」等の作業をするボランティアを募集しています。 金沢市西念1丁目12番27号

Tel(076)222-3337

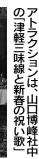
### 石川労福協・連合石川

## 2008新春の集い



連合石川の役員出席者に挨拶する労福協と

発橋 **(声で乾杯)** |本和雄労福協副理事長の





県LSC事務局司会は谷内英明 次長

### 新年あけましておめでとうございます 今年もご支援ご協力をお願いします

川部の:

会柚長木

金沢地域ライフ

サポ

センター

木光

加賀地域ライフ 小松・能美地域ライフ・サ ・サポ 会 長 長 ポー センタ 中 庭 Ш 田

センター

茂男

貢

白山 野 ||々市 地域ライフ・ 長 油 省三

西ブロック運営委員会 委員長 委員長 柚 西 木 和 彦 稔

東北ブロック運営委員会 委員長 山 П

南ブロック運営委員会

会 長 佐 Þ 、木良盛 幸男

河北地域ライフ サポ 会 長 センター 前 後 和 雄

羽咋地域ライフ サポ 会 長 センタ Ш 井 良平

七尾 鹿島地域 ライフ 会 長 サ 野 田 セ 昭 ター

島・穴水地域ライフ 会 長 長 ポートセンタ Ŀ 髙 野 橋 武 正 剛 夫

### 石川労福協・連合石川共催「2008新春の集い」

## 2008春闘と衆院選の勝利を誓う



石川労福協・連合石川共催の「2008新春の集い」は1月8日(火)、金沢市の金沢都ホテルで開催された。

石川労福協として4回目となる「新春の集い」には、来賓や事業団体、ライフ・サポートセンター、連合石川、地協の役職員など約250名が出席し、2008春闘と衆議院選挙の勝利やライフ・サポートセンター運動、緊急サポートネットワーク事業、福祉なんでも相談活動の推進に向け決意を新たにした。

谷内英明県LSC事務局次長の司会で始まった 「新春の集い」の冒頭、上田弘志石川労福協理事長・ 連合石川会長は、「今年は失われつつある『労働の 尊厳』を回復するため、果敢にチャレンジする年に したい」と強調し「誰もがゆとり・豊かさが実感で きる、労働を中心とした福祉型社会を構築していく」 と訴えた。今春闘については「二極化・格差社会の 是正を図り、生活改善に結びつけ、総労働時間の短 縮と時間外割増率の引き上げにも取組む」とし、具 体的な要求について「7.000円以上の賃金引上げと 企業内最低賃金協定の締結で、法定最低賃金の引上 げに結びつけて行きたい」と述べた。衆議院選挙に ついては「すべての選挙区で勝利し、与野党逆転を 果たさなければならない」と強調。また、ライフ・ サポートセンター運動について「現役労働者と退職 者、事業団体が一体となり緊急サポートネットワー ク事業や福祉なんでも相談活動を積極的に展開し、 無料職業紹介所『ジョブいしかわ(仮称)』を今年 秋の開設に向けて準備していく」と方向を示し「す べての働く者の連帯で、職域活動・地域活動・企業 活動の特性を相互に補完しながら、社会的共感が得 られる運動を展開していこう」と挨拶を結んだ。

来賓の谷本正憲知事、山出保金沢市長、一川保夫 参議院議員(メッセージ)が挨拶した後、橋本和雄 石川労福協副理事長の発声で乾杯した。

引き続き、奥田建民主党県総支部連合会幹事長、宮下登詩子社会民主党県連合代表、金原博新進石川会長、北尾強也連合石川法曹団代表、近藤和也(民主党県総支部連合会副代表)衆議院選石川3区・連合石川推薦候補者が祝辞の後、連合石川地方議員懇談会に所属する県市町議会議員が壇上に並び、それぞれ今年の決意を述べた。

恒例のアトラクションは、六博流師範・山口博峰 社中の「津軽三味線と新春の祝い歌」で参加者の心





県市町議会議員の決意表明

が和んだ。

最後に、柚木光連合石川副会長の閉会挨拶の後、 上田石川労福協理事長・連合石川会長のガンバロウ 三唱で子年の運動をスタートした。